

令和6年度 第10回理事会 議事録

日時：令和7年2月25日（火）：19：00～

場所：ZOOM（オンライン）

参加者：（理事）磯野、高村、有泉、大西、鮎川、渡邊、上田、平賀、鈴木、菊池、古屋、山下

（部長、委員長）小林、丸茂、清水、藤原

慶事： 0件 弔事： 0件

施設数：177施設 会員数：927（施設会員882/在宅会員45）人（2月25日現在）

【審議事項】

1. 認知症スタンプラリーについて（認知症対策委員会）
2. リハマップの目次、レイアウトについて（士会支部局）
3. LINE 公式アカウントによる情報伝達について（事務管理局 会報部）
4. 会報部への予算流用について（事務管理局 会報部）
5. ポケットWi-Fiの運用について（事務管理局 総務部）
6. パソコンの管理について（事務管理局 総務部）

【報告事項】

1. 令和6年度 全国パラスポーツ関連担当者会議
2. 「山梨県理学療法士会に対する意識調査」アンケート結果公開について
3. 令和6年度第4回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告
4. R6年度 ワークライフバランス部研修会の報告について

【事務管理局より】

- ・来年度の事業計画（案）、予算（案）の準備をお願いいたします。監事・理事・部長・委員長のフォルダ内（理事会⇒2024年度⇒2025年度 事業計画・予算）に各局や委員会ごとにまとめていただき、担当副会長に確認をいただいてから、フォルダへ提出をお願いいたします。3月15日を期限としたいと思います。
- ・リハ専門職団体協議会10周年記念式典について、12月の土曜日で日程を検討中。
- ・産業保健相談員募集について、士会員に募集中
- ・第60回日本理学療法研究大会のプレイベント企画の若手理学療法士の推薦については、フルリールの大西先生に依頼中。
- ・年度末の締めになるので、事業が終わった部局は3/25までに通帳などの提出をお願いしたいと思います。

【磯野会長】

専門職団体のリハ学会でPTの参加者が100人弱かと思うが、どうしたら研修参加してくれるのか。当初予定していた参加者が得られなかったのが、県内の学会をどのようにしていかなければならないのか考えなければならなかったと感じた。PT協会の選挙があり、定員23人に対して43人の立候補がいる。たくさんの方が立候補するのはいいことですが、20人落ちるのはどうなのかと思うが、山梨でもそうであればいいのか。関ブロ士会長会議で学会では参加費の値上げ、県士会との合同学会の承認いただいた。学会運営委員会から提案いただき、学会の課題がまとめられてきた。5～6月でどこの士会でも総会が開かれるが、今回10士会長のうち5士会長が変わる予定で、次山梨で合う士会長は5人違う会長になって世代交代が進んでいるのは感じた。

【 審 議 】 資 料 1

提出者	清水 真治	部局名	認知症対策委員会
議 題	認知症スタンプラリー		
内 容 および 提出趣旨	2025 年 1 月 24 日に山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 認知症委員会の ZOOM 会議がありました。その際、来年度の事業として、2025 年 6 月 1 日（日）10 時～16 時頃 森林公園 金川の森にて「認知症スタンプラリー」というイベントを開催することになりました。 当事者や専門職に限らず地域住民全体を対象とした認知症啓発イベントとなります。ブースも専門職以外にも企業や市役所などが参加する予定です。 提出資料 あり 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	事業が来年度で早々のイベントであり、今年度中に審議を頂き準備をしていきたいです。また、広報部から旗やビブス貸出、グッズ（100 個ほど）をいただきたいと考えています。 天気によっては、来場者も増えるため部員（4 名）のみではなく、帝京科学大学や健康科学大学などの学生の手伝いもしくは有志の先生方を募りたいと考えています。 イベントでは、ロコモチェックもしくは同等の体力チェック、認知症に関連した資料の配布も考えています。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	意見： ・ 学生の動員は問題ない。今の保険の適応があれば準じるが、難しいようであればボランティア保険を推奨した上で案内をしたい。日割りの保険で入らせることができる。 ・ 健康科学大学はボランティア学生サポートセンターへ依頼して学生を募る。条件をだして募る。学内の実習などの保険はあるが、他の事業は難しいので学生も短期の保険をかけてもらえることとお弁当が支給されるようにしていただきたい。 質問 ・ 司会の会員は有志ですか、日当ですか。 ⇒RUN 伴と同じように日当を出す予定、お弁当は出す。 ⇒PT 士会で募るのであれば認知症委員会で日当を出してよい。 ⇒県士会員の日当は県士会が払うべき、学生はボランティア		
審議結果	審議（ 終了 ）		賛否（ 賛成 ）
	・ 事業については承認 ・ スタッフは、PT 士会または学生のボランティアを募集する。		
	対応部局または理事氏名	認知症対策委員会	
	処理期間	なし	
	次回再検討予定	なし	
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）	B（ 会 員 ）	C（ 一 般 ）

資料 2

認知症スタンプラリー企画概要・過去の開催状況

1. 企画内容

- 1) 概要 : 当事者や専門職に限られない地域住民全般を対象とした認知症啓発イベント
- 2) 主催 : 山梨県作業療法士会 認知症対策推進委員会
- 3) 目的 : ①当事者やご家族が楽しく外出できる場を作る
②当事者やご家族でなくても、認知症について興味を持ち、認知症の方を支える輪を広げられる
- 4) 場所 : 県営 森林公園金川の森(笛吹市一宮町)
- 5) 流れ : 【STEP1】公園内を散策しながらブースを回る
【STEP2】各ブースで認知症の説明を受けて、各種体験をするとスタンプをもらえる
【STEP3】スタンプ 3 個以上でお菓子をもらえる

2. 過去の開催状況

- 1) 開催日と参加人数 : 2016 年 10 月(約 200 人)、2017 年 10 月(約 70 人)、2018 年 9 月(約 300 人)
2019 年 10 月(約 360 人)

2) ブース紹介(参考:過去協力していただいたブース)

【作業療法士会】  小物づくり	【福祉用具業者】  福祉用具体験	【キャラバンメイト】  認知症クイズ
【認知症の人と家族の会】  絵本読み聞かせ・相談対応	【アニマルセラピー】  セラピードッグ触れ合い体験	【クスリのサンロード】  お菓子の説明・お菓子クイズ

【スターバックスコーヒー】  コーヒーの予防効果説明・試飲	【アロマトリートメント】  アロマの効果説明・ハンドトリートメント	【甲斐けん玉クルー】  けん玉体験
【バルシステム山梨】  見守りサービス紹介・健康食品の試食	【歯科衛生士会】  お口の機能検査・歯みがき指導	【栄養士会】  栄養クイズ

その他 : 市役所、山梨県立図書館、富士急トラベル、シャトー勝沼 など

3. 2025 年度予定(仮)

- 【開催日】2025 年 6 月 1 日(日) 10 時～16 時頃
 【場 所】森林公園 金川の森(山梨県笛吹市一宮町国分 1162-1)

4. 今後の流れ(仮の目安です)

11 月～12 月	ブース協力の可否の検討→決定
1 月～2 月	ブースのチラシ掲載内容決定 / ブースの人数や物品仮決定
2 月	チラシ作成
3 月	チラシ配布開始
4 月	当日の流れ・ボランティア配置決定
5 月	決起会
6 月 1 日	開催

5. 連絡先

一般社団法人山梨県作業療法士会認知症対策推進委員会 委員長 森 彰司
 TEL:080-3387-6340(個人携帯)
 E-mail:mo_risho@ybb.ne.jp(mo の後はアンダーバー)

【 審 議 】 資 料 3

提出者	平賀 篤	部局名	士会支部局
議 題	リハマップの目次、レイアウトについて		
内 容 および 提出趣旨	士会支部の今年度事業としてリハマップ作成を行い、大枠の形が完成いたしました。目次と代表的な施設を医療、介護分野で添付いたします。レイアウトについてご確認ならびにご審議をお願いいたします。 また完成版は全部で 150 ページ程度となります。 ①A5 冊子型に印刷して各施設に郵送する ②PDF 版を士会 HP にリンクさせる の 2 点で配布を検討しております。こちらについてもご意見をいただけますと幸いです。		
	提出資料	無	別紙 1 枚 資料番号等
提出者の意見	今回は周囲の施設を知るという目的のため、士会員がいない施設にも配布をしようと考えております。また施設名称や制度の変更が想定されるため、今後定期的に情報を更新する予定です。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	意見： ・作成後もブラッシュアップをして進めていっていただきたい。サイズについては手に取って見やすいのは A5 のサイズだと思う。 ・今回は施設から初めて、今後市町村へつなげていっていただければと思う。 質問： ・更新時期について ⇒印刷配布で毎年計上するのは、予算がかかる情報が変わった場合にまず PDF を変更して、印刷は 3 年か 4 年で検討。		
	審議（ 終了 ） 賛否（ 賛成 ）		
審議結果	・レイアウトについては A 5 サイズで進めていく。 ・ P D F のリンク承認		
	対応部局または理事氏名	士会支部局	
	処理期間	なし	
	次回再検討予定	なし	
	公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）	

【 審 議 】 資 料 4

提出者	宇月 正明	部局名	事務管理局 会報部
議 題	LINE 公式アカウントによる情報伝達について		
内 容 および 提出趣旨	「2024 年度 管理者・若手合同情報交換会」を経て、3 役会にて士会の情報伝達において、現在メーリングリストによるメール配信により情報伝達を行っているが、LINE 公式アカウントを取得し LINE による情報伝達をする提議があった。 LINE の公式アカウントによる通信は、延べ通信数により料金体系が変わる。 例えば 200 人の「友達追加」があったとして、10 回/月の配信があれば、2000 回の通信数となる。 ライトプラン：月額 5000 円で 5000 通（5000 通以上の追加メッセージは不可） スタンダードプラン：月額 15000 円で 30000 通（3000 通以上の追加メッセージは～3 円/通） これにより費用対効果の事前データが必要と思われ、会員に幾つかの確認事項が必要と思われた。Google フォームを利用し、会員に対しアンケート調査を行いたい旨。 アンケート調査の実施については調査研究部にお願いしたい。 提出資料有り 別紙 1 枚 資料番号等 アンケート内容		
提出者の意見	確認事項 絶対条件：士会員の LINE アプリのインストール状況の確認 相対条件：士会員の「友達追加」の同意数 以上の確認・士会員にアンケート調査をし、導入是非を判断したい。 検討事項 ・メーリングリストとの併用？もしくは LINE 公式アカウントへの全面移行？ ・アンケート結果にもよるが、導入にあたり会員の必要実数は？ 理事会でのご審議をしていただきたい。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	意見： ・送る件数は多ければ多い方が良い。1 通で 3 件くらいは遅れるので、3 件きてから送るか、1 件で送るかを検討してもらえればと思う。 ・どれくらいの発信があるかわからないので、ライトプランで初めて 2 か月くらい送れないなどあれば、スタンダードへの変更を検討 ・何人友達追加してくれるのか。300 来れば十分だと思う。		
審議結果	審議（ 継続 ）		賛否（ 賛成 ）
	・目標の登録目標は 300 ・運用はライトから初めて、状況に応じて変更。 ・まずはアンケートを進めていく。		
	対応部局または理事氏名	事務管理局 会報部	
	処理期間	なし	
	次回再検討予定	理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）	B（ 会 員 ）	

山梨県理学療法士会からのメールのお知らせについて

現在、山梨県理学療法士会は士会員への情報伝達にLINE 公式アカウントの導入を検討しています。

そのためのアンケートになります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

①山梨県理学療法士会から届くメールは、開封しますか？

- 1 全て開封する
- 2 「件名」によって開封する
- 3 開封しない
- 4 メールソフト・メールアプリ自体、開かない

②「LINE」をスマートフォンもしくはパソコンにインストールしていますか？

- 1 している
- 2 していない

③「LINE」を私的な連絡以外に、仕事で使用していますか？

- 1 している
- 2 していない

④「LINE」の公式アカウントを「友達追加」していますか？

例) 芸能人の公式アカウント 企業の公式アカウント 等

- 1 している
- 2 していない

山梨県理学療法士会が「LINE」公式アカウントを作った場合、「友達追加」しますか？

- 1 する
- 2 しない

以上になります。ご協力ありがとうございました。

【 審 議 】 資 料 6

提出者	大西正紀 宇月正明	部局名	事務管理局 会報部
議 題	事務管理局 会報部への予算流用について		
内 容 および 提出趣旨	Supporters No. 165 の発刊等に伴い、会報部の予算が 50,000 円程不足されることが予測されます。それに伴い、広報部の予算より不足分についての予算流用を行いたいと考えております。 提出資料 無 資料番号 等		
提出者の意見	印刷製本費、郵送費等の高騰により当初予算より費用がかかったことが要因として考えております。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容など	意見： ・ 広報の中の一つに会報があるのかと思うので、そこを分けた方が良いのか考えたほうが良い。他の県士会では郵送することはなくなっている。ものすごい額になるので、何を郵送しなければならないのか、事務局で検討いただきたい。 ・ 物価の高騰で例年通りでは、10 月に郵送費も上がった。会報とメール配信でやっている県士会もあり。本会でも実験的に 1 施設 1 部を試みたこともある。		
審議結果	審議（終了）		賛否（賛成）
	・ 資金の流用については承認 ・ 今後、会報誌のデータ化を検討		
	対応部局または理事氏名	事務管理局 会報部	
	処理期間	なし	
	次回再検討予定	理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	

【 審 議 】 資 料 7

提出者	山下 浩樹	部局名	事務管理局
議 題	ポケット Wi-Fi について		
内 容 および 提出趣旨	現在、当士会において 9 台のポケット Wi-Fi を契約しており、年間 517,524 円の費用がかかっております。使用頻度の少ない局もあり、今後のポケット Wi-Fi の運用方法について、意見をいただき見直しを行っていきたい。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	① 希望の台数のみ契約：9 台⇒5 台になり、金額的には約 24000 円/月、年間約 20 万円程度の削減になる ② ポケット Wi-Fi の契約を辞め、通信費をお支払いする：ZOOM1 時間のギガ数＝0.5 ギガ 0.5 ギガ＝100 円（ワイモバイル 20 ギガ 4000 円）。1 時間の ZOOM 会議につき、通信費 100 円上限 1000 円/月 対象は要検討 （例 理事 14 名 上限 1000 円/月 14,000 円/月 168,000 円/年 ⇒ 年間で約 350,000 円削減）		
	提出資料	有	別紙 1 枚 資料番号等
主な意見内容 など	意見： ・基本的な考えとしては、理事にポケット Wi-Fi と PC を用意して県士会の仕事をしてもらうのでもよいが、予算の確保は難しい。どこかに必要性が高いところに渡すか、持っていないスタッフは自宅のネット・スマホでデザリングしており、デザリングは自分の携帯料金に乗っけている。使っていないところ契約解除。それでも必要であればそれは残した方がよいが、契約を残すのか、デザリングした時に料金を支払うのか検討が必要。LINEWORKS のネット環境が必要、LINEWORKS の使用も料金が発生する。 ・デザリングを使っている持ち出し感はある。会議費を頂いているので、それを通信費にあてがっても良いのでは、通信費別途での請求が手間になる。 ・各理事にポケット Wi-Fi があればうれしいが、現実には難しい。会議費の取り扱いも審議が分かれるが、拘束されている時間と持ち出しの時間は別。持ち出しを減らすのは現実的には、会議は仕方ない、事業に経費を出すことで割り切る。 ・役職に決まった金額をあげる補助でというのでよいのでは。 ・ポケット Wi-Fi コロナの時期に Zoom を契約して、ネット環境がない方に徐々にポケット Wi-Fi を契約して随時追加した。スタッフは延々と続かないので、変更のたびにポケット Wi-Fi を渡していくのではなく、通信費に関しての費用弁償を士会として決めてどこが担当になっても問題ないように取り決めておく。次の担当の職場がネット環境が使えるかわからないので取り決めを決めていく方向でやっていった方がよいと思う。 ・使用の頻度が変わって必要性が少ないのであれば、減らしたい。学術局は部長に対するフォローも考えていかなければと思う。		
審議結果	審議（ 継続 ）		賛否（ 賛成 ）
	・意見を踏まえて今後の対応を検討する。		
	対応部局または理事氏名	事務管理局	
	処理期間		
	次回再検討予定	理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）	B（ 会 員 ）	

【 審 議 】 資料 8

提出者	山下 浩樹	部局名	事務管理局
議 題	パソコンについて		
内 容 および 提出趣旨	現在 11 台のパソコンが部局にあり、部局の管理で運用している。しかし、多くのパソコンが古く、起動に時間がかかるなどの問題がある。また、Windows のサポートが切れてしまうものがほとんどである。パソコンの今後の管理について、検討を行いたい。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	・調査により部局で希望する台数は 12 台。しかし、使用頻度に大きな差があり、必要性について検討が必要。 ・リースパソコンは 5 年契約で 1 台 4,000 円/月程度(一台 240,000 円/5 年) 12 台 576,000 円/年 ・管理がそれぞれの部局となっているため、事務管理局での一括管理とし、次年度の予算に計上を検討。 提出資料 有 別紙 1 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	意見： ・1 台 24 万は高いのか、検討が必要。 ・一人 1 台パソコンを持っていてどうなるのか、無理に希望通りにそろえるのはどのようなものか。 ・使えないパソコンをあてがわれても困る。リースにしていって買い替えていくか、何年かで順番に変えていくのかどちらか。管理は事務局の管理が良い、使えるパソコンと使える部署に配置してもらいたい。		
審議結果	審議（ 継続 ）		賛否（ 賛成 ）
	・パソコン管理は事務管理局 ・入れ替えは次年度の予算に入れていく		
	対応部局または理事氏名	事務管理局	
	処理期間		
	次回再検討予定	理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）	B（ 会 員 ）	

【 報 告 】 資料 9

提出者	古屋 伴仁	部局名	業務推進局
議 題	令和 6 年度 全国パラスポーツ関連担当者会議		
内 容 および 提出趣旨	日 時：2025 年 2 月 19 日（水）18：30～20：00 WEB 開催 対象者：各士会パラスポーツ関連担当者 議題内容：1. パラスポーツ理学療法業務推進事業について アンケート結果等 2. 事例報告（北海道、青森、滋賀） * 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会に参加した理学療法士の表彰について 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	協会よりスポーツ庁、関連団体（日本ボッチャ協会、日本パラスポーツ協会等）からのヒアリング結果と今後の方針について。各士会での現状報告・取り組み、全国障害者スポーツ大会への取り組み等が報告された。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	都道府県パラスポーツ協会との関わり、初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会開催について報告があった。また全国障害者スポーツ大会に向けてコンディショニングルームの設置だけでなく、パラスポーツアスリート発掘の協力も依頼を受けたと。 山梨県も 2032 年に国民スポーツ大会が開催予定（報告のあった青森、滋賀とも 8 年前より準備を開始。）		
結果	・ 推薦については条件あり、条件を確認して表彰者を選んでいく。		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

資料 10

令和 6 年度 全国パラスポーツ関連担当者会議	資料 1-1
令和 7 年 2 月 19 日（水）	

全国パラスポーツ関連担当者会議



公益社団法人

日本理学療法士協会

Japanese Physical Therapy Association

パラスポーツ理学療法業務推進部会

趣旨説明

パラスポーツ理学療法業務推進部会では、初年度に関連団体のヒヤリングを実施し必要な取り組みを検討した結果、人材育成とネットワーク強化等を課題とするビジョンを設定した。

今年度は実践的な方策として、全国担当者会議にて県士会の協力を得て、事例を通して情報共有をすることとした。

ヒヤリング結果

スポーツ庁：地方公共団体における障害者スポーツの所管は多岐にわたる。
機能させるためには、医療・福祉・教育・スポーツがつながる体制構築が必要であり、ここに医療職の方にどう入っていただくかが課題。

パラスポーツ協会：理学療法士は、障害のある方々が医療機関から社会に出る際に、最後に接する職種だと思う。その時にぜひ障害のある方々や地域の障害者がスポーツに出会えるように、ご協力いただきたい。

パラスポーツ理学療法業務推進部会事業報告

2024年度

事業概要	パラスポーツに関する理学療法を推進するために効果的な事業を実施するとともに、そのために必要な人材育成、ネットワーク強化等を行う。
事業目標	一生涯、スポーツを通して健康を維持して行くために、社会におけるパラスポーツ分野のニーズや課題に応じたパラスポーツに関する理学療法を推進するために必要な取り組みを実施する。
期待される成果	パラスポーツ分野における理学療法士の役割が社会的に認知され、理学療法士の活躍の場が広がる。パラスポーツの質の向上と推進に理学療法(士)の知識と技術を生かすことで、国民の健康に寄与できる。
達成目標	・2023年度の議論を踏まえ、より理学療法士が関わるための方策を実施。 [ネットワークWG] ・士会向けアンケート作成 ・アンケート結果まとめ作成 ⇒ 報告 [研修会WG] ・全国パラスポーツ関連担当者会議開催 ⇒ 取り組み事例を発表

【関連団体の対応】

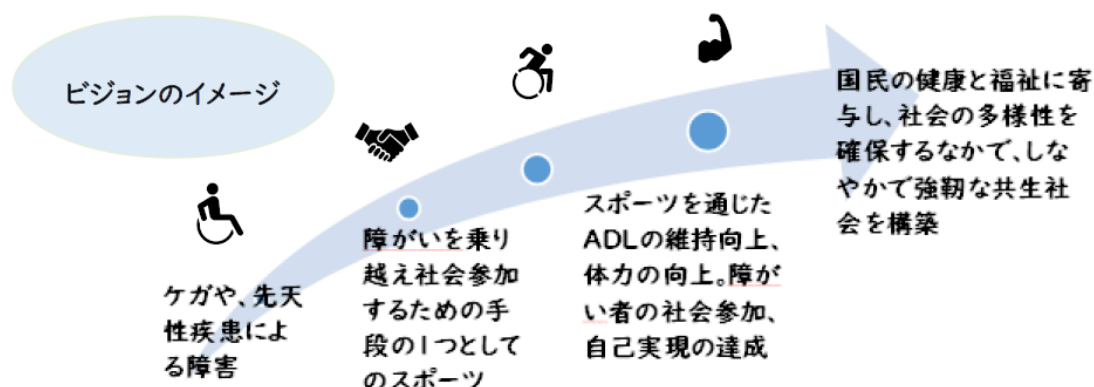
- ・スポーツ庁、パラスポーツ団体など
- ・日本ボッチャ協会：ボランティア派遣要請にかかる対応

ビジョン（2023年度設定）

理学療法士は、事故や疾病から発生した障害について、医学的見地から評価し対応策を提示することができる。対象者※が身近で適切なスポーツに参加することは、リハビリテーションの目標である社会参加を達成するための重要な手段であり、心身の機能回復及びADLの維持向上はもとより、体力向上、健康増進によるQOLの向上をもたらす。

理学療法士は、障害のある方がスポーツに出会うきっかけを作ること、パラスポーツの普及に貢献し、国民の健康と福祉に寄与する。

（※対象者：臨床等で理学療法士が治療や、社会復帰の支援を行う人）



3

関連団体との関係

日本ボッチャ協会

○ボランティア派遣要請にかかる内容

- ・ 執行理事下において事務局にて対応する。
- ・ 全国大会開催にあたって、ボランティア派遣依頼があれば応じる。
- ・ 事務局は、先方の要請に応じて、会員に対してボランティア募集の公募をかける。

当該ボランティアは、会員であるPTにボッチャ競技に関わる機会をもってもらい、知ってもらうことを目的とする。

その為、大会中にボランティアとして配属される各ボッチャチームにおいて、PTとしての介入を求めるものではないことを事前に目線合わせが必要

- ・ 地方大会におけるボランティア派遣の依頼があった場合は、開催地に該当する都道府県士会に伝える

日本パラスポーツ協会

- ・ 政令指定都市および各都道府県に地方協会がある。
- ・ パラスポーツ指導員養成は、都道府県単位で実施している。
- ・ 都道府県士会は地方協会と連携を図ることを推奨する。

4

まとめ

- 理学療法士とパラスポーツの取り組みの体制について活動している。
- 理学療法士は障がい者がパラスポーツに出会うきっかけを作る存在である。
- 理学療法士は、障がい者のADLの維持向上、体力の向上、社会参加、自己実現の達成について、スポーツを通じて支援することができる。
- 部会では、ビジョンを設定し今後の方針を示した。
- 今後の実践活動は、必要に応じて関連団体と協働し、都道府県理学療法士会において進めることを推奨する。
- 協会では、全国担当者会議を開催し、情報交換の機会を設ける。

【 報 告 】 資 料 1 1

提出者	山縣 巧、古屋 伴仁、井村 順治			部局名	業務推進局 調査研究部		
議 題	「山梨県理学療法士会に対する意識調査」 アンケート結果公開について						
内 容 および 提出趣旨	令和 6 年 3 月 15 日～令和 6 年 4 月 15 日に実施いたしました上記アンケート結果を 士会ホームページに公開したいと思います。						
	提出資料	無・有		別紙	枚	資料番号等	
提出者の意見							
	提出資料	無・有		別紙	枚	資料番号等	
主な意見内容 など	・ 特になし。						
結果	・ 報告の通り。						
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）				B（ 会 員 ）		C（ 一 般 ）

【 報 告 】 資 料 1 2

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	1. 令和6年度第4回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告		
内 容 および 提出趣旨	1. 令和6年度第4回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会 日時：令和7年1月27日（月）19:00～19:30（Web 開催） 参加：PT 士会 磯野会長、山下事務局長、大野 検討事項：①令和6年能登半島地震災害における費用弁済について ②R-スタッフ、D-スタッフ、L-スタッフ養成研修について ③令和6年度山梨県地震防災訓練について ④日本災害リハビリテーション支援協会5周年記念式典について ⑤JMAT ロジスティック協議会について ⑥JRAT-DX 委員会について ⑦2024年度山梨 JRAT 研修会について その他：大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	令和6年能登半島地震災害における費用弁済について 山梨 JRAT より費用負担 甲州リハビリテーション病院：75,860 円 春日居総合リハビリテーション病院：25,740 円 ② ③ ④ ⑤ ⑥については追加報告事項なし。 ⑦ 令和6年度山梨 JRAT 研修会について 主催：山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 共催：山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会 日時：令和7年3月15日（土）13時から17時 会場：大木記念ホール その他：大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について ・保健医療福祉調整本部の設置等について山梨県庁福祉保健部福祉保健総務課の担当者に確認していく。マニュアルの見直しを行う予定。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り。		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 資 料 1 3

提出者	松野 奈美（恵信甲府病院）	部局名	ワークライフバランス部
議 題	R6 年度 ワークライフバランス部研修会の報告について		
内 容 および 提出趣旨	R7 年 2 月 6 日(木)にワークライフバランス部の研修会を開催しましたので、以下に報告いたします。 ・ 講師：健康科学大学 福祉心理学科(人間コミュニケーション学科)講師 渡邊 隆文 先生 ・ テーマ：世代間の視点を尊重した職場づくりとハラスメント対策 ～ベテラン・中堅・新人が共に働くための配慮と工夫～ ・ 日時：R7.2.6（木）19:00～20:30 ・ 方法：オンライン形式 ・ 参加者：県士会員 39 名 （申込数 44 名）		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	ZOOM ミーティングにて実施し、当日は大きなトラブルなく進行できたが、事前申し込みにて、連絡ミスや連絡がつかないことがあったため、次回へ対策していきたい。 研修後、参加者へアンケートを実施し、現在集計中であるが、今後の部の活動についても参考になるようなさまざまな意見を頂いている。 今年度は、前身にあたる委員会の案をもとに研修会を実施したが、今後のテーマや活動の方向性についてアンケート結果を参考にしながら、来年度以降も積極的に活動していきたい。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし。		
結果	・ 報告の通り		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	

【 報 告 】

提出者	鮎川将之	部局名	学術局 研修管理部
議 題	協会指定管理者研修(初級)の事業報告について		
内 容 および 提出趣旨	令和 6 年度 協会指定管理者研修(初級)を以下の内容で開催いたしました。 開催方法:Zoom を使用した Web 開催 テーマ:協会指定管理者研修(初級) 日時:令和 7 年 1 月 22 日(水)18:30~20:00 内容:『協会の求める管理者像』、『士会組織化の方向性と管理者の協力体制』 ※協会から提示されている資料を使用 参加費:無料 参加人数:13 名		
	提出資料	⑨・有	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	大きなトラブルもなく、無事に終了いたしました。受講者の先生は役職についている方が大半でしたが、経験年数が 4~6 年目の方でチーム内での調整役をされている方も前回に比べると増えている印象を受けました。		
	提出資料	⑨・有	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	質問: ・研修の講師は誰になるのか。 ⇒協会の動画を流している。		
結 果	報告の通り。		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】

提出者	菊池信	部局名	学術局 (旧学術大会局)
議 題	第 4 回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の報告について		
内 容 および 提出趣旨	2025 年 2 月 1 日、2 日に上記学会が盛会の内に終了しましたので以下に報告します。 ・参加人数: 1 日目 PT101 名、OT64 名、ST53 名、学生 8 名、合計 226 名 2 日目 PT87 名、OT54 名、ST49 名、学生 4 名、合計 194 名 2 日間の延べ人数 PT188 名、OT118 名、ST102 名、学生 12 名、合計 420 名		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	旧学術大会局から継続して携わってきた 3 士会合同学会が 2 月 1, 2 日に開催され、滞りなく終了しました。参加人数は上記の通りです。 次回は ST が中心となり、2027 年度開催となります。演題、スタッフ等、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし。		
結 果	報告の通り。		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

